

天沼中だより

7天沼中 第126号
令和7年6月30日
杉並区立天沼中学校
自主・自律・共生



「学校行事を通して」

校長 池田 和幸

今年度の運動会は天気の巡り合わせが悪く、予定日、予備日ともに雨天となったため、6月4日（水）に実施しました。午後は区内小中学校一斉の研修が予定されていたこともあり、午前中での開催となりました。前日に開会式を行い、当日は準備体操からスタートするなど、時間短縮の工夫を行いました。生徒が意識して行動し、スムーズな競技進行によって、運動会で予定していた全ての種目、表彰まで一通り午前中一杯で終わることができました。生徒の前向きな取組があったからこそ、実現できた運動会でした。天沼中生の素晴らしさを改めて感じる事ができた運動会だったと思います。

学校行事は、学習指導要領の特別活動に位置づけられているものです。特別活動には他に「生徒会活動」「学級活動」があり、「学校行事」を含めた3つの柱で構成されている領域です。学校行事の目標には、「全校又は学園の生徒で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。」と示されています。第1の目標に掲げる資質・能力とは、特別活動全体の目標に示されている内容で、「(1) 多様な他者と協議する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。(2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。(3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。」と示されています。つまり、これから社会で生きていく上で大切になる、調整力や意思決定する力、人間関係を形成する力や自己実現を図ろうとする力を高めていくことを目標にしています。

学校は同年齢の集団と一緒に生活するという特異な社会です。しかし、同年齢同士だからこそ、生徒同士の目線が近い位置になり、互いの意見や考

えを伝えやすいというメリットがあります。学級や学年、全校で1つの目標を決め、それを目指して一人一人の生徒が様々な工夫を凝らし努力していくことができる場というのは、学校だからこそ経験できることだと思っています。

今年度の運動会は6年ぶりに学年種目を復活させました。感染症対策が求められコロナ禍以降実施してきませんでした。学校行事の意義について再度見直し、生徒にとって人間的に大きく成長できる機会を作っていきたいという思いから実施することにしました。当日の生徒の表情を見れば全てを物語っていると感じます。勝負ごとには勝ち負けがどうしてもついてしましますが、生徒のアンケートを読んでもみると、負けても一生懸命に取り組んだことが自分やクラスの成長につながっていることを実感した様子が伝わりました。保護者の方のアンケートからは、小学校で経験できなかったことが今年の運動会で経験できたというご意見をいただきました。中学校という学びの場で、学業だけでは得られない学びを学校行事から学んでほしいと思っています。

最近、非認知能力の育成ということが言われるようになりました。非認知能力とは、学力テストのように数値で図ることが難しい、意欲や協調性、やり抜く力などの内面的な能力のことです。普段の授業の中においても、これらの非認知能力を育成していくことは可能ではありませんが、学校行事を含めた特別活動には、非認知能力の育成に大きく寄与する学習だと考えています。

本校の学校教育目標は、「自主」「自律」「共生」です。これらの目標を支える力には、意思の力が大切です。意思の力は内面的な資質、つまり非認知能力の1つと言えます。内面的資質を育成するために大きな力を発揮する活動が特別活動ですから、本校の学校教育目標の実現のためには、学校行事の充実というのは欠かせません。今年度の運動会の成功に満足せず、内容をブラッシュアップしていきながら、さらに生徒が大きく成長する学校行事が実施できるように取り組んでいきたいと思っています。

令和7年度 天沼中運動会

6月4日、2度の雨による延期が続きましたが、ついに運動会が開催されました。水曜日開催となり、競技時間も午前中のみという条件でしたが、生徒の気持ちが運動会から離れることはありませんでした。前日、体育館で開会式を行い、当日は朝早くから準備が行われました。平日開催にも関わらず、たくさんの参観者に見守られ、生徒たちは元気に、そして、スピーディーに競技・運営を行い、時間内の実施は難しいと思われていた長縄、閉会式まで行うことができました。学年種目も新しく加わり、充実した運動会となりました。暑い中、受付・警備・撮影をご協力いただいたPTAの方々、学校支援本部の方々、ご声援をいただいた保護者の方々、ありがとうございました。



保護者の方からたくさんのアンケートのご協力をいただきました。実現が難しいものもありますが、次年度以降の参考とさせていただきます。紙面の都合上、改善につながる内容をまとめたもののみを省略して掲載いたします。

運動会全般の運営について

- 本部席裏の1階の教室も開放していただけたといいなと思った。
- 雨で延期の場合でも土曜か日曜だとありがたいです。
- 技術室のブルーシートが一部はがれていました。養生テープをもう少し増量したら良いと思います。大人が余裕ですれ違えるくらいの幅があれば。
- 保護者同士で譲り合いながら、観覧できたのはとてもよかったと思いますが、テントの裏を通過して移動していいとわかりづらかったです。
- 大体でいいので、プログラムに開始時間や所要時間があれば助かりました。
- 南門から入り、奥の保護者観覧席への行き方が分かりませんでした。一言、入口で声をかけてもらえるとスムーズに動けると感じました。
- 保護者証は各家庭2枚しかないので事前に申請を受付けて祖父母などの観覧者用に運動会だけで使用できるカードを配っておくシステムにすれば受付がよりスムーズだと思います。
- 運動会開催予定だった土曜に公開授業で、学年練習が見られ、撮影も許可頂けた事がとても良かったです。順延になってしまうと仕事で参観出来ない方は迫力のある練習が見れてとても満足しておりました。
- 教室と廊下を経由しての移動は廊下は涼しいしよかったです。でも、教室の机の上にはしっかり座っている方や、机に土足で足をかけている方をみました。大人だから気をつけるのはあたりまえのことだけど、学年が変われば親も入れ替わるので注意喚起しても効果が薄いなら、机に乗せている椅子ごとシートで包んだらいいと思います。
- 疾走競技は走る順番を教えてください。同じ種目に参加の他の保護者さんと譲り合うことが出来ます。
- 休日開催の場合には、もっと混雑するので観覧席の確保が必要になりそうと思いました。
- 図書室と視聴覚室の開放は良かったが、誰でも利用可能にしてほしいのと、座る場所を作ってほしかった。
- 大幅なスケジュール変更は英断だと思います。観覧の際のアナウンスは入れ替わりがスムーズにでき効果がありました。
- 熱射が心配でしたが、子供達の控え席にテントが設置されていて安心しました。ありがとうございます。
- 振替日は日曜日にしてほしい。平日開催は仕事の調整がとても大変だった。
- 生徒の席に近隣小学校から借りてテントが立っていたのは非常に良かったです。あと通路を校内に設けて土足で通り抜けられたのもとても良かったです。
- もう少し生徒が盛り上がりた良いと思いました。優勝しても拍手だけとかだったので。
- 保護者が観覧できるスペースの後ろの校舎沿いなどに椅子があったらいいなと思いました
- 受付でプログラムを受けとる時、係の方に「今何番をやってる」と教えていただき、有り難かったです。
- 天気予報から前日の夜に延期などわかると助かります。校長先生の声が聞こえにくかったのが残念でした。
- 平日開催なら翌日1時間目なし。とかにしてあげてほしかった。
- アナウンスが聞こえづらかったので、リレーの順番や競技の参加者の一覧があると嬉しい。よろしく願います

競技について

- 借り人競走の借りる内容が今年はアナウンスに変更なってわかりやすかったです。
- キンボールはよく分かりませんでした
- 進行がスムーズで良かったです！100メートル走のタイムが知りたいです。
- 去年と違ってキンボールや借り物競走の時のマイクが聞き取りやすかった。
- 借り人競争がとても面白かったです！お題が長いと少し聞き取りづらい部分がありました。
- 蛇の皮むきが、見ていて楽しかったです。借り人競争も、去年に引き続き楽しかったです。
- 借り人競争が、ただでさえ出番がとても短い上にお題が聞こえず、従来の紙をとってトラックを走る方式の方が良いと思います。借り人競争という競技自体は連帯感が生まれてとても良いと思います。
- 学年リレーと式別リレーをやるならば、100メートル走以外の個人種目にしたらどうかな？と少し思いました。リレー系過多かな、と。
- 長縄の時ですが、B組の方たちが遠すぎて見えなかったんじゃないかと思いました
- 100メートル走のゴール後のスペースが狭く、速い子ほど観客のいるところまで突っ込みそうで心配でした。ゴールまで全力で走るためにももう少しスペースがあると良いと思うのですが、校庭の広さの制約もあり難しいですね
- 中2の学年種目である蛇の皮むきは、事故が起きそうで冷や冷やして見ていました。後ろに倒れた際に後頭部を地面にぶつける、後ろの生徒の顔の上に座るなどがありました。
- キンボール。風で左右されてるしマイクでも声がきこえなかったりして中途半端に感じます。あれなら玉入れとかでいいのでは？わかりやすく選手も応援する子たちも親もみんなが拍手して盛り上げられる種目がいい。
- ムカデ競争はクラス単位ではなく、もう少し小規模のグループ同士でやったほうが勝負がおもしろいと思いました。
- 学年競技は子どもたちで考えても面白いかもしれないと思いました。
- リレーのバトン渡し場所をカーブにした方が、運動が苦手な子も怖がらず出来るし、ストレート場所でスピードに乗って、抜かしたり抜かされたりと もっと盛り上がるんじゃないかなと思いました。



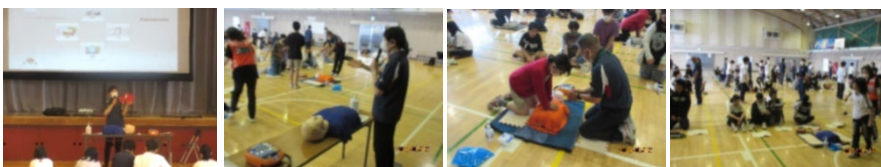
掲載した内容以外にもたくさんの今後継続してほしいことや感謝の言葉をいただきました。保護者の皆様、ご理解ご協力、ほんとうにありがとうございました。職員一同

ペットボトルキャップ 回収 5月22日



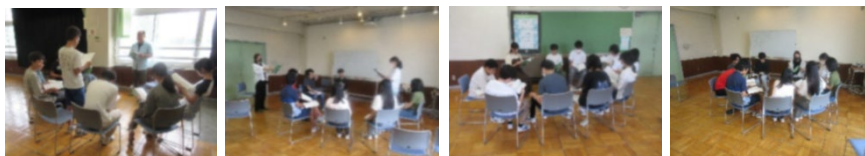
生徒会から全校生徒にボランティアを呼びかけ、地域の方と一緒にペットボトルキャップの回収を行いました。リヤカーを引いて地域の回収センターを周り、回収されたペットボトルキャップはプリサイクル原料として利用してもらいます。そこで得た収益から「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」に寄付をするボランティア活動です。6月の生徒朝会では地教推の田中会長、青少年委員の大橋委員が来校し、お礼の言葉をいただきました。

3学年普通救命講習 6月12日



第3学年では杉並消防署、杉並消防団の方々をお招きし、普通救命講習を行いました。応急手当の方法としてAEDの使い方や心肺蘇生の方法、気道確保の方法など様々な救命手段を座学と体験を通して学びました。これから水泳の授業も始まることもあり、生徒も教員も一生懸命に話を聞き、取り組んでいました。

2学年ことだま朗読 授業 6月24日



劇団「鈴木 KE 企画カンパニー」を講師としたことだま朗読授業が行われました。朗読は登場人物の心情や場面を考えて行うものです。そして、朗読は一人ではできないもので、聴く相手のことを思いやる態度が大切だと教えていただきました。

今年6月7日（土）に行われた東京都中学校放送コンテストの朗読部門に3年C組の[]さんが天沼中学校から初めて出場しました。天沼中学校がことだまの朗読に取り組んで今年で4年目になります。来年はたくさんのお出場者を期待しています。

2学年 理科出前授業 6月25日、26日



第2学年の理科出前授業を行いました。物質の酸化・還元の実験では孔雀石を炭素で還元する実験に取り組み、班によっては非常にきれいに還元反応を確認することができました。



最後は、ベンガラとアルミニウムを反応させる「テルミット反応」。瞬間的に3000℃ほども反応熱が発生する実験に生徒たちも興味津々でした。

天中CSコーナー 天中生とエコキャップ

先日、地域の方がエコキャップ回収を長年続けてこられた思い出を間接的に(民生委員の方から)うかがう機会がありました。

地域でエコキャップ回収を続けて来た原動力は、天中生との回収活動での沢山の思い出だったというお話です。回収袋が破れ、道端にキャップが散乱し、慌てて天中生も一緒に拾った等々。孤立する高齢者が問題になっている今、この活動は、高齢者と若者が目的を共有し話を交える交流の出来る機会でした。

その時のハプニングが、そのような貴重な機会になっていたということです。些細な活動かも知れませんが、地域の方とも繋がり、キャップ回収・ワクチン購入を通して世界に繋がる大切な「糸」なのかと思いました。そのような糸を紡ぐ、地域の中学校を夢見ています。